



「対話的で深い学びの実践」

～カリキュラム・マネジメントスクール

による教育活動の充実に向けて～

令和2年 1月17日(金)

船橋希望学舎

世田谷区立船橋小学校

世田谷区立千歳台小学校

世田谷区立希望丘小学校

世田谷区立船橋希望中学校

学舎の児童・生徒の実態

学び舎の教育目標

- (1) 豊かな人間性を育む
- (2) 豊かな知力をつける
- (3) 健やかな身体を育てる

児童・生徒の実態

- 友達と協力したり、話したりする活動には意欲的に取り組む児童・生徒が多い。
- 自信がなく、自分の考えをすすんで表現できない児童・生徒が多い傾向がある。
- 教師や友達の話を聞く態度に課題がある。
- 個人で課題解決をする活動を楽しむことができる児童・生徒とそうでない児童・生徒の二極化がみられる



学舎の児童・生徒の実態

育てたい児童・生徒像

- 自分の考えをすすんで表現しようとする子ども
- 対話的な学びを通して、自分の考えを広げたり、深めたりできる子ども



研究仮説・研究主題について

研究仮説

他者と協働して、対話的な学びが生まれるような学習活動を行い、その楽しさや価値を実感することを積み重ねることにより、すすんで自分の考えを表現したり、考えを広げたり、深めたりしようとする子どもたちが育つであろう。

演劇的手法 NIE 学校図書館の利活用

「対話的で深い学びの実践」
～カリキュラム・マネジメントスクール
による教育活動の充実に向けて～

小学校の実践事例



船橋小学校の実践と カリキュラムの事例＜演劇的手法＞



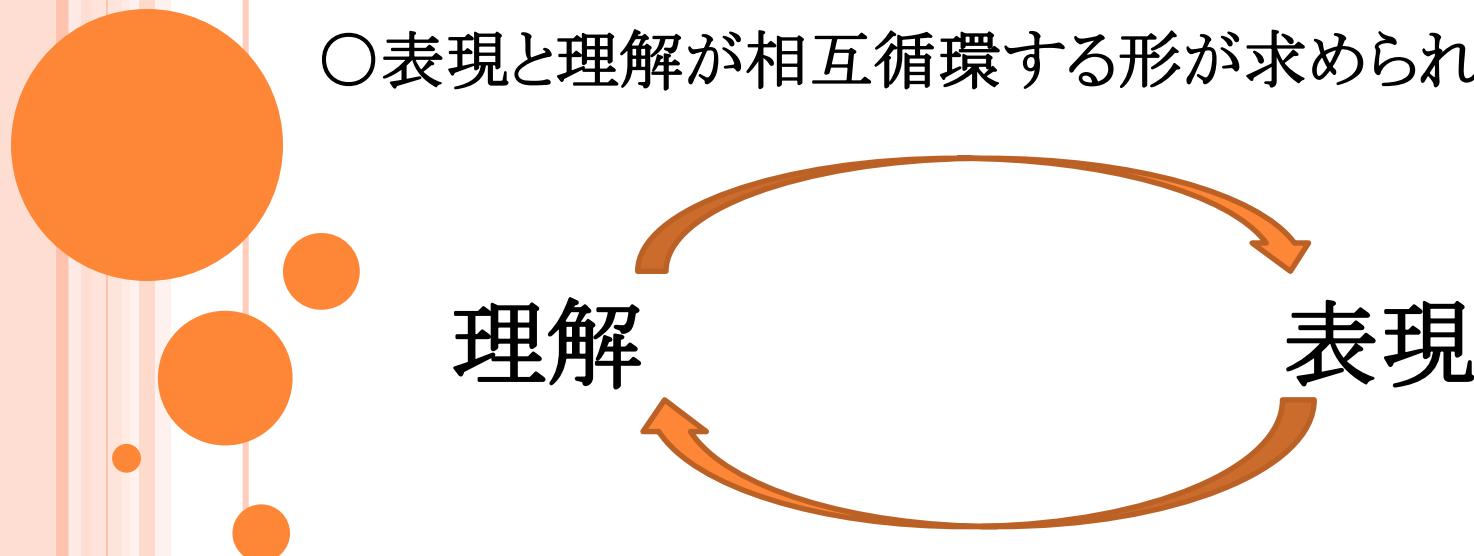
実践研究【船橋小学校】

演劇的手法

【演劇的手法とは】

身体を動かして架空の世界を生み出し、その中で何かになってふるまうことを通して学習を行う手法のこと

○表現と理解が相互循環する形が求められる。



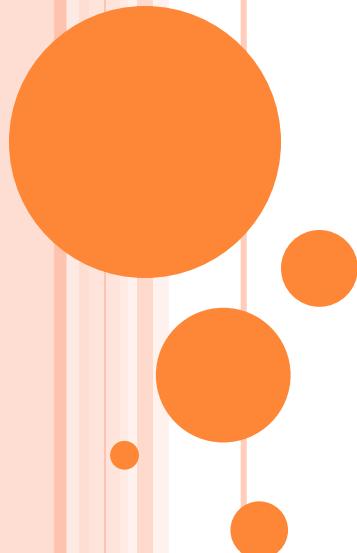
実践研究【船橋小学校】

演劇的手法

4年生 国語科「落語『じゅげむ』」

声を出すことの身体性に着目して、言葉とともに身振りや表情、仕草などノンバーバルな側面へ意識を喚起

- ・距離の違いを感じとる力
⇒ 相手の立場を理解して、自分の考えを伝えられる児童
- ・物語の登場人物を適切に捉える力
⇒ 文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる児童
- ・互いに話し合い、意見をまとめ、表現する力
⇒ 必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつことができる児童



実践研究【船橋小学校】

演劇的手法

4年生 国語科「落語『じゅげむ』」

【成果】

- ・実際に体を動かしてみることで、新しい気づきが生まれて、理解を深めることができた。
- ・友達同士での演劇交流により、学習への興味・関心が高まった。
- ・すべての児童が、学習に参加できる場を設定することができた。
- ・演劇的手法を取り入れた学習により、相手の考えを理解しながら聞き、自分の考えを表現する態度が出始めた。
- ・学芸会において、身振り手振りの重要性を理解して練習できた。

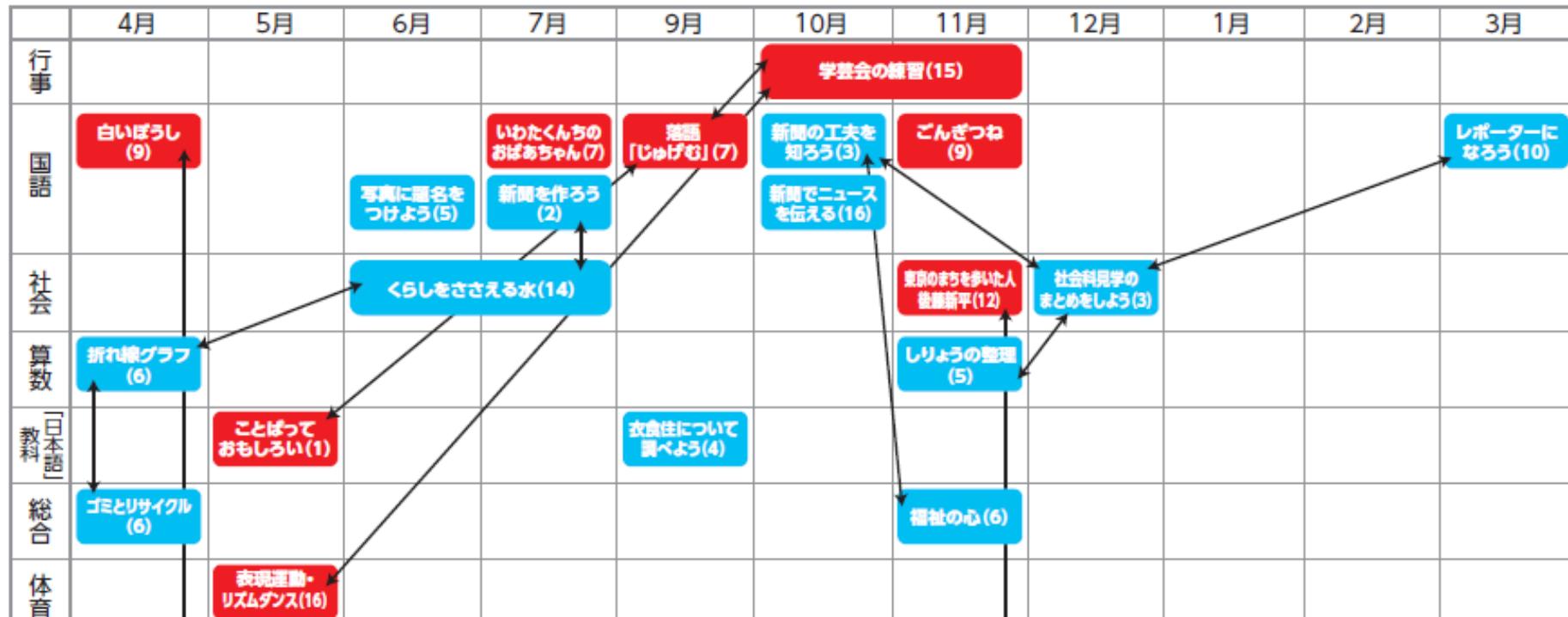
【課題】

- ・体で表現することに慣れていない児童に対しての働きかけが必要である。
- ・日常生活の中においても、表現と理解の相互循環が行えるような場を増やしていく必要がある。

実践研究【船橋小学校】

演劇的手法

カリキュラム・マネジメント 年間指導計画(4年)



1学期：感謝、節度、節制、生命的尊さ、礼儀、自然愛護、相互理解、対応、公正、公平、社会主義、国際理解、国際改善、個性の伸長、規則の尊重、友情、信頼、勤労、公共の精神
2学期：家族愛、家庭生活の充実、親切、思いやり、希望と勇気、努力と強い意志、善悪の判断、自律、自由と責任、自然愛護、公正、公平、社会主義、友情、信頼、節度、節制
伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度、相互理解、対応、よりよい学校生活、集団生活の充実、感動、敬愛の念、正義、誠実
3学期：伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度、勤労、公共の精神、希望と勇気、努力と強い意志、相互理解、対応、善悪の判断、自律、自由と責任、礼儀、節度、節制、親切、思いやり、生命的尊さ

希望丘小学校の実践と カリキュラムの事例< NIE >



実践研究【希望丘小学校】

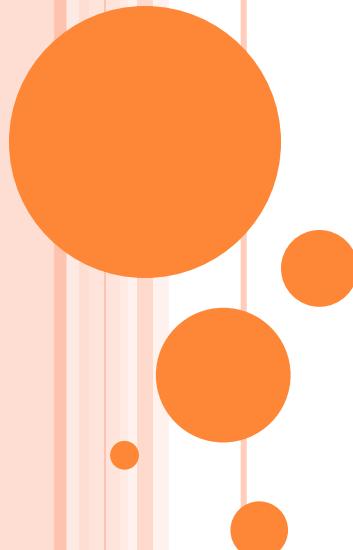
NIE

《身に付けさせたい力》

事実、要旨を捉える力

コミュニケーション能力

事実を正確に読み取る力
意見・感想を豊かに表現できる力



実践研究【希望丘小学校】

NIE

総合的な学習の時間 「新聞記事を読んで考えよう(NIE)」

○ 読みとき新聞ワークシート

- ・実態に即したワークシート
- ・要旨を読み取るための明確な視点

実践研究【希望丘小学校】

NIE

総合的な学習の時間 「新聞記事を読んで考えよう(NIE)」

○まわし読み新聞

- ・手軽に実践できる学習形態
- ・豊かな話し合い活動

コミュニケーション能力の習得

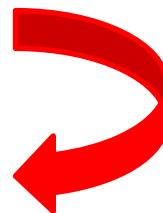
実践研究【希望丘小学校】

NIE

総合的な学習の時間 「新聞記事を読んで考えよう(NIE)」

【成果】

- ・要旨を的確に捉える力の習得
- ・活発に意見交流を行う活動

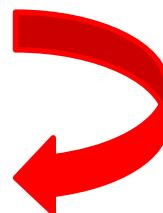


【課題】

- ・教科横断的な取組
- ・継続的な実践



※ カリキュラム・マネジメントの充実



実践研究【希望丘小学校】

NIE

カリキュラム・マネジメント 年間指導計画(6年)

千歳台小学校の実践と カリキュラムの事例 <学校図書館の利活用>



実践研究【千歳台小学校】

学校図書館の利活用

学校での取組

①読書指導

- 学校図書館司書が作成した「千歳台ブックリスト」を基に本を選ぶ。
- 年間を通した読書記録
- 教科の学習内容に関連した本を用意

②情報活用指導

- 低学年は十進分類法や目次、索引について、中学年からは図鑑、百科事典の使い方など、発達段階に応じて指導を行っている。

実践研究【千歳台小学校】

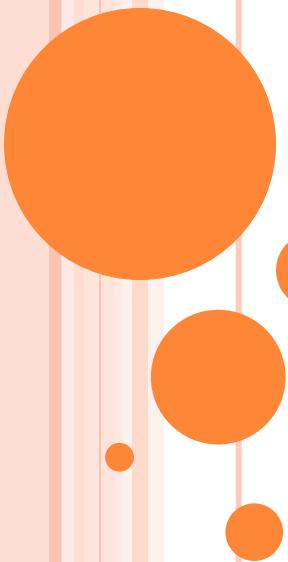
学校図書館の利活用

1年生 国語科「としょかんへいこう」

学習のめあて

学校図書館における分類の仕方の基礎を確認し、自分で本を探そうとする。

学習の流れ

- 
1. 動物の名前が書かれているカードをグループごとに配り、その動物が出てくる本を集める。
 2. 集めた本の背表紙にある分類番号を確認し、本には分類番号(本のお部屋)があること、番号ごとに本の種類が違うことに注目できるようにする。
 3. 実際に本を探す。

実践研究【千歳台小学校】

学校図書館の利活用

【成果】

- 学年に応じて図書の分類を意識させることで、読み物以外の本にも興味をもった。
- 調べ学習の際に、教科書や資料集以外の本からも情報を得て、学習に広がりが見られた。

【課題】

- 学校図書館司書との連携をさらに深め、発達段階に応じた内容の指導を系統的に行う必要がある。

実践研究【千歳台小学校】

学校図書館の利活用

カリキュラム・マネジメント 年間指導計画(1年)

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語	くちの たいそう(2)	にくをくわえた いぬ(6)	どうぞのいす (8)	しつぼしつぼ (2)	おおきなかぶ (10)	いぬのきもち (9)	ぼうしの はたらき(8)	わたしの よんだ本(10)	きよだいな きよだいな(18)	なにが できるかな(8)	夕日の しづく(10)
生活	きれいにさいてねわたしのはな(14)										ふゆとともにだちになろう(10)
日本語	はる・なつとともにだちになろう(8)										むかし遊び(6)
音楽	ひらいた ひらいた(1)	はくをかんじて あそぼう(3)	はくをかんじてリズムをうとう(10)	たなばた(1)		なぞなぞを作ろう(3)			いいろいろなもの なりきってみよう(3)	はるなつ あきふゆ(2)	
体育	走の運動遊び(1)			水遊び(8)	水遊び(4)	跳び箱を使った 運動遊び(3)	跳の運動遊び(8)			表現遊び(2)	表現遊び(2)
道徳	多様な動きをつくる運動遊び(7)			跳び箱を使った 運動遊び(2)	マットを使った 運動遊び(2)	マットを使った 運動遊び(2)	体はぐしの 運動(2)	マットを使った 運動遊び(2)	リズム遊び(2)	マットを使った 運動遊び(2)	1年間：よりよい学校生活、集団生活の充実感、勤勉性の尊さ、礼儀相互理解、尊容公正、公平、社会主義精神の仲長友情、信頼勤労、公共の精神貫徹、思いやりや喜びの判断、自律、自由と責任 2年間：家庭愛、家庭生活の充実感、思いやり希望と勇気、努力と強い意志や喜びの判断、自尊、自由と責任の相互理解、自信・親切・自然愛護・規則の尊重公正、公平、社会主義精神、信頼感度、勤勉伝統と文化の尊重、臣や郷土を愛する態度相互理解、尊容正直、誠実礼儀 3年間：伝統と文化の尊重、臣や郷土を愛する態度勤労、公共の精神希望と勇気、努力と強い意志相互理解、尊容・喜びの判断、自律、自由と責任の相互理解、勤勉感度、思いやりや生命の尊さの認識、長老の尊友情、信頼

中学校の実践と カリキュラムの事例



実践研究1【船橋希望中学校】

演劇的手法

- 平成31年 2月20日(水)
- 第1学年
- 教科名 「教科「日本語」」
- 授業内容「オリジナル短歌と演劇づくり」



オリジナル短歌と演劇づくり



授業での評価の視点

- グループごとの発表に至る話し合いのプロセスでどのような対話がなされたか。
- 発表では、それぞれの生徒が役割を担い、その役割を果たすことができたか。
- 発表を観る側の生徒は、何を伝えようとしたいかを観察しようとしているか。
- 振り返りの場面では、うまくいったところやもう少し頑張りたいところを振り返られるか。



実践研究2【船橋希望中学校】

演劇的手法

NIE

- 令和元年 7月13日(土)
- 第2学年
- 教科名 「特別の教科 道徳」
- 授業内容「恩人さがしています」



恩人探しています



感謝の言葉 直接伝える

与那国島でのおじの葬式に参列するため那覇空港に向かう途中で財布をなくした沖縄工業高校2年の崎元颶馬さん(17)は、航空券の代金6万円を貸してくれた埼玉県の医師、猪野屋博さん(68)と21日、那覇市松川の同校で「再会」を果たした。念願の対面が叶った崎元さんは「直接お礼が言えて本当にうれしい」と感謝を述べた。

崎元工2年

航空貨工面「恩人

2人は握手を交わし、略業で作った文鎮を手渡した。猪野屋さんは再会の念にもちつもないで、6万円の入金を封筒と授念にもつ無くさないで

崎元さん「困っている人に声掛けたい

猪野屋さん「尊厳を大事にしてくれた

贈られた文鎮を手にする猪野屋博さん(左)と財布を手にする崎元颶馬さん=21日午後、那覇



実践の成果と課題(演劇的手法)

【成果】

- 場面や会話を想像し心境を想像するには非常に有効だった。生徒たちも考察を深めることができた。

【課題】

- 実際に演じるまで時間がかかり、50分の授業の中で充実した演劇的活動を行うには時間が足りない。



実践の成果と課題(NIE)

【成果】

- 身近な話題であったこと、普段利用する公共の交通機関の場面であることから興味・関心を引くことができた。

【課題】

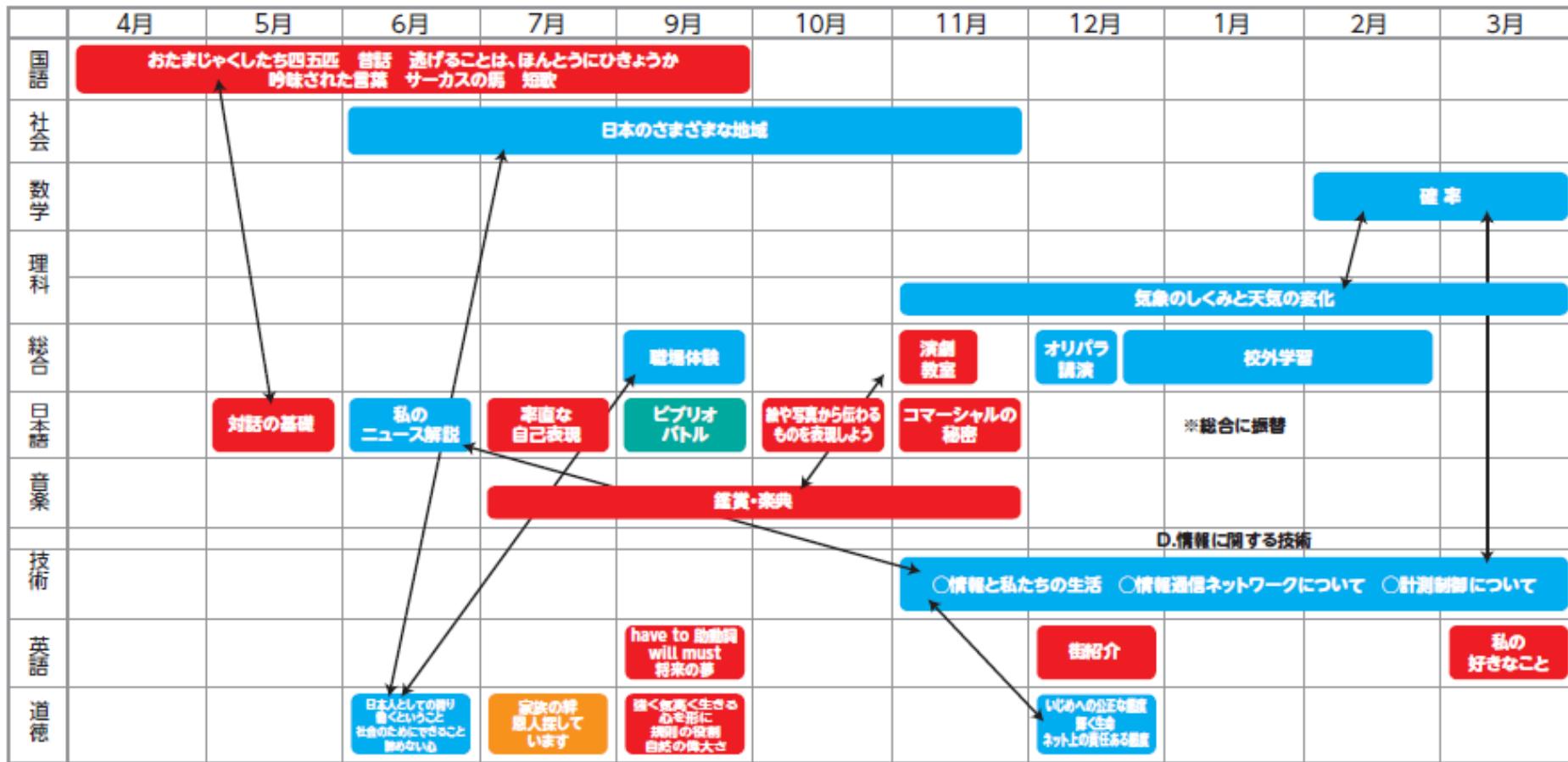
- 新聞社と連絡を取り、準備まで時間がかかる。
- 新聞を使うのであれば「日ごろから」アンテナを張り、見通しをもって準備する。



実践研究【船橋希望中学校】

NIE 演劇的手法

カリキュラム・マネジメント 年間指導計画(2年)



成果と課題



全体の成果

- 学舎での9年教育の中で、学舎の3つの小学校すべてが同じ目標をもって取り組んだ経験は、中学校に進学した際に、様々な活動の中でより発展的・応用的に取り組める力になることが期待できる。
- 小学校の段階で演劇的手法を用いた表現の実践やNIEの取組、さらに学校図書館の利活用を進めていく中で、児童・生徒は研究テーマである「対話的で深い学び」を行う素地が培われた。

演劇的手法の取組の成果

- 国語や道徳の授業で、実際に演じてみることで心の内面に気づくことができた。
- 理科では専門家になったつもりで調べようとして学習への意欲が高まった。
- 中学校でも、授業で演劇的手法を用いて演じてみることで心の内面に気づくことができた。
- 発達段階に応じて課題を工夫することで、小学校でも中学校でも有効な手段となる。



NIEの取組の成果

- 新聞記事に慣れ親しむ活動を通して、新聞を身近に感じ新聞を手に取って読む姿が以前より増えた。
- 新聞記事の内容についての自分の考えをもち、対話する活動に意欲的に取り組むことができた。
- 中学校では、複数の新聞に触れて紙面の比較を行うことができた。また、新聞記者から記事の書き方を学ぶことを通して、見出しの工夫をしたり、限られた字数で要点をまとめる経験ができた。

学校図書館の利活用の取組の成果

- 学年に応じて図書の分類を意識させることで、読み物以外の本にも興味をもった。
- 調べ学習の際に、教科書や資料集以外の本からも情報を得て、学習に広がりがみられた。
- 中学校では、学年別にビブリオバトルを実施したり、図書委員会による本の紹介などにより、生徒の本に対する興味を高め、学校図書館利用が促進できた。



全体の課題

小中学校それぞれが様々な実践と研究を重ねてきたが、まだ小学校間や中学校との連携という視点では不十分な部分がある。



- 学舎の日などに情報を交換して、9年間を見通した計画性のある教育活動に高めていくことが課題として挙げられる。
- 学校内でも、教科横断的な授業を計画実践していくことに加え、あらゆる教育活動の中で「対話的で深い学び」につながる実践を行い、児童・生徒の成長につなげていく必要があると考える。



全体の課題

＜演劇的手法を用いた表現＞

子どもたちがまだ演劇的手法に慣れておらず、学習に深まりがあまり見られないことがあった。

＜NIE＞

学習活動に適している記事を選定するのが難しい。

＜学校図書館の利活用＞

学校図書館司書との連携をさらに深め、発達段階に応じた内容の指導を系統的に行う必要がある。



これからの実践に向けて

「対話的で深い学び」を進める
ために船橋希望学舎4校は互
いに情報を共有し、連携しなが
ら今後も引き続き研究と実践を
進めてまいります。

